

【重要】「SSL3.0」の脆弱性に関する対応のお知らせ

いつも近畿大阪銀行の EB サービスをご利用いただきありがとうございます。

すでにご案内の通り、米国 Google 社より、インターネット通信のセキュリティ保護のために使用されている「SSL3.0」に、通信内容の一部が第三者に解読される恐れのある脆弱性が存在するとの発表がありました。

※[参考]独立行政法人情報処理推進機構の WEB サイト(外部サイト)

お客様の情報資産の安全性確保のため、近畿大阪銀行の EB サービスにおいて以下の日程で「SSL3.0」の無効化の対応を行います。

無効化実施日時 : 2015 年 6 月 1 日(月)

**対象サービス : 近畿大阪ビジネスダイレクト(でんさい、外為 Web サービスを含む)
近畿大阪パソコンサービス(アンサーSPC(VALUX))
近畿大阪ホームバンキング(VALUX)**

本対応に伴いまして、「SSL3.0」で通信されているお客さまにつきましては、実施日以降、ログインボタンを押下した際、「無応答」もしくは「ページを表示できません」等のエラーが発生する可能性があります。

一部端末をご利用のお客さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

※各サービスの動作確認済環境([近畿大阪ビジネスダイレクトはこちら](#))では、「SSL3.0」ではなく、より安全性の高い「TLS1.0」以上のバージョンが選択されているため、現段階では安全性への影響はございません。

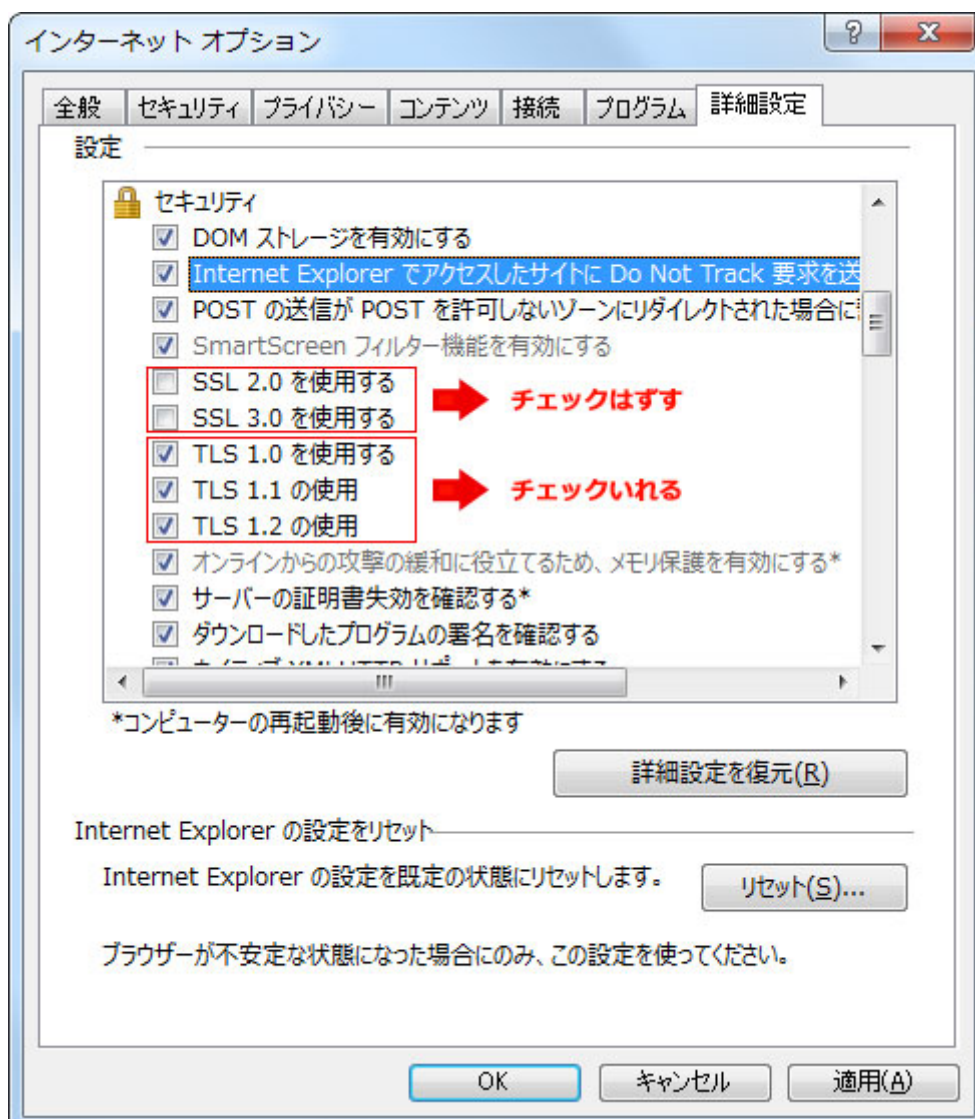
しかしながら、動作確認外の環境(特に「Windows XP(SP2 以下)」「Internet Explorer 6 以下)」をご利用のお客さまは、サービスがご利用いただけなくなる可能性が高いため、最新の OS/ブラウザへの更新をお願い致します。

<ブラウザの設定状況の確認および設定変更の手順>

SSL3.0 を無効化し、TLS 1.0、TLS 1.1、および TLS 1.2 を有効にする手順

○Internet Explorer をご利用の場合

- (1)Internet Explorer の [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。
- (2)[インターネット オプション] ダイアログ ボックスの [詳細設定] タブをクリックします。
- (3)[セキュリティ] カテゴリの中の、[SSL 2.0 を使用する]、[SSL 3.0 を使用する]のチェックボックスにチェックがついている場合はチェックを外し、[TLS 1.0 を使用する]、[TLS 1.1 の使用]、および[TLS 1.2 の使用]にチェックいただき、[適用] をクリックします。



(4)Internet Explorer を再起動します。

○Firefox をご利用の場合

Firefox の最新版はすでに、「SSL 3.0」方式での接続を無効にしており、かつ、標準で「TLS」での接続となっていますので、最新版をご利用のお客さまはご対応不要です。

最新版以外をご利用のお客さまは、最新版へ更新いただくことにより、「SSL 3.0」の脆弱性を回避することができます。

○Apple 社製品をお使いの場合

SSL 3.0 の脆弱性に対応したソフトウェアアップデートが Apple 社から提供されています。

ソフトウェアをアップデートしていただくことにより、「SSL 3.0」の脆弱性を回避することができます。

以上